



IoTで金属と非金属の選別を行う高性能の大型設備。導入されたばかりのドイツ製。



部品を抜いた後の自動車を方形に圧縮して坂出工場に集積。破碎・分別して資源にします。



破碎された自動車片が高速のベルトコンベアで運ばれる様子。奥でメタルセンサーにより選別。



日本では希少なリーベル社の電気式コンボ。リサイクル先進国、ドイツの設備や機械が活躍。

三木鋼業株式会社

循環型社会形成のために
廃棄物を分別して再資源化。

最新設備導入で質の高い抽出・分別を可能に。

不要品の中にも適切に分別すれば資源として再利用できるものがあります。三木鋼業は、自動車を中心に廃棄物を再資源化します。

中古車販売店などから廃棄自動車を引き取り、まずはエアバッグやフロンガス、部品を取り外し。外した部品はそのまま中古製品として販売するものもあります。その後、車体を破碎し、鉄、多様な非鉄金属、非鉄金属に分けて再資源化。リサイクル先進国・

ドイツの設備を導入した大型プラントで、高品質な抽出、分別を行います。経済産業省からの認定を取得し、シュレッダーダスト(破碎後のゴミ)も資源化可能です。

一昨年には家庭の不要品を独自に回収する「じゅんかんコンビニ24」を高松市郷東町に開設。再資源化できる品物を持ち込むとポイントが付与され、また持ち込まれた小型家電の貴金属は東京オリンピックのメダルに利用されます。家庭の不要品回収事業に加え、親子での施設見学を受け入れるなど、地域リサイクルへの関心の喚起も使命に活動。企業活動がそのまま、持続的循環型社会の形成を担う未来型企业です。



自動車の破碎と資源選別が行われているプラントの全景。騒音防止のため壁を築いています。



95%以上が機械化されているプラント内部。機械操作のオペレーターを配置。



円滑なリサイクルの調整役。

Staff Voice

車の引き取り時のトラックや運転手手配、処理委託の書類まとめ、出荷調整など、総務は業務全体の取りまとめ役を担います。異業種から転職し入社後に法律を学びましたが、必要な資格取得の支援制度もあり、意欲のある人を後押ししてくれます。アットホームな雰囲気もある働きやすい会社ですね。

総務部長 兼 高松本社工場長
平川 裕貴さん



循環型社会の形成で地域に貢献。

持続的循環型社会形成への意義は認められながら、キツイイメージのある業界です。弊社は最新設備の導入で労働効率を上げながら、「見せられるきれいな工場」を目指し、リサイクルの認識を「未来をつくり人の心を豊かにする事業」に変えることが目標です。

代表取締役社長 三木 高彦

Company Profile

本社：香川県高松市朝日町4丁目-11-59
☎ 087-851-7011
☎ 087-822-8306
<http://miki-steel.co.jp/>

設立 ■ 1965年1月
資本金 ■ 4,800万円(2019年4月末現在)
従業員数 ■ 79名(2019年7月現在)